氏名：河合　佑菜、所属：法文学部 4 年
留学先：台湾・東海大学（交換留学）



交通系 IC カード悠游卡。学生証にも同じ機能があると知らず、 2 枚持ちになってしまった。

9 月 9 日、台湾北部の桃園空港に到着しました。
出迎えてくれた学生ボランティアの方に案内され、長距離バスに乗って台中市の東海大學へ。初海外ということもあり不安な部分もありましたが、ボランティアの方々と合流するまで空港の中を探検して、買い物の練習や SIM 契約、交通系 IC カードの用意等々をしていたので、安心して留学生活をスタートさせることができました。大学につくと英語で
寮の案内をされました。そこで初めて同室の日本人の子に会いました。寮の部屋の振り分けはある程度同じ出身地の人同士で組まれるようです。勉強してきているとはいえ、聞き慣れた言葉で話しかけられると安心します。このようにして、留学先での生活を始めることになりました。



路思義教会。日曜日には礼拝が行われている。

私が今お世話になっている大学は、台湾中部の台中市の、市中心部から少し離れたところにある東海大學という総合大学です。開拓の精神をモットーに幅広い学術分野に力を入れ、附属幼稚園から大学院博士課程までの教育機関を設置しており、現在約 15,000 人の学生を擁しています。この大学のシンボルである路思義教会 2026 年の最新版の地球の歩き方にも載っており、朝女性寮から大通りに出ると、教会の方まで観光や散歩に来る人々の姿が見られます。また、隣接する第 2 キャンパスでは牧場で様々な動物を飼育しており、そこで採れた牛乳やその加工品は学内のカフェやショップで購入することができます。

留学生は基本的にどの学部の授業も、担当教員が許可する限り受講することができます。ない場合は直接教員や教務課に相談する必要がありました。また同時に台湾華語センター(CLC)での授業も割り振られており、単位上限と照らし合わせて慎重に科目を選ぶ必要がありました。渡航前に履修計画を確定させておくのが理想でしたが、現地に着いてから CLC の授業時間の通知が届いたため、授業開始日の 14 日から初回授業へ出席する傍ら、本科の開講科目の履修登録を進めていきました。最終的には、毎週平日午前中の 3 時間は CLC で台湾華語を学び、午後は受講許可が下りた文化系の 3，4 科目を学べることになりました。

今回の主な目標は、活動範囲を広げることでした。高鐵、台鐵、MRT、バスといったほとんどの公共交通機関を使えるようになり、また文創にかかわる商品や店舗を直接見ることができました。来月は台中市内の文創区に見学に行き、最終目標である「島根の伝統工芸品の課題解決への手がかりを得ること」への道を模索したいと思います。